

会 議 要 旨

(1 / 3)

会議の名称	令和4年度第2回川越市健康づくり推進協議会
開催日時	令和5年 3月28日(火) 13時30分開会 ・ 14時50分閉会
開催場所	川越市総合保健センター 3階研修室
議長(委員長・会長)氏名	会 長 元山 猛
出席者(委員)氏名(人数)	副会長 村田 一男 委 員 宮山 徳司、西村 早苗、新家子 直之、須田 弘子、清水 克子 大塚 賢一、長峰 す美子、米原 民子、志村 洋子、三芳 弘道 江尻 旬子 (12名)
欠席者(委員)氏名(人数)	委 員 深井 智子、鶴田 淳子、柴 明孝、本木 春男、鹿倉 隆、 大澤 克哉、
事務局職員氏名	渡邊部長、後藤課長、清水副課長、有馬主幹、長澤主幹、宮崎副主幹 関根副主幹、小川主査、小高主査、倉林主査、櫻井保健師
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 報告 (1) コロナ禍における市民健康意識調査結果の概要について (2) 大東地区市民の健康・食生活に関するアンケート調査結果について 4 議題 (1) (仮称)健康かわごえ推進プラン(第3次)について ①川越市民の健康調査についてのアンケート調査 (2) 今後のスケジュールについて 5 その他 6 閉会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 資料1 コロナ禍における市民健康意識調査報告書(案) ・ 資料2 大東地区市民の健康・食生活に関するアンケート調査結果報告(一部抜粋) ・ 資料3 川越市民の健康についてのアンケートご協力をお願い(案) ・ 資料4 分野別アンケート項目関連一覧表 ・ 資料5 (仮称)健康かわごえ推進プラン(第3次)に係る市民アンケート調査スケジュール ・ 参考資料1 国の次期プランのビジョンについて ・ 参考資料2 次期プランのビジョン(案) ・ 参考資料3 次期プランにおける目標(案) ・ 議題(1)追加資料 ・ 第36回川越市健康まつり 視聴者数(6週経過報告) ・ 30周年記念号 保健推進員だより

議 事 の 経 過

<会議の概要>

コロナ禍における市民健康意識調査結果及び大東地区市民の健康・食生活に関するアンケート調査結果の概要について説明。

また、健康かわごえ推進プラン（第2次）の最終評価並びに時期プラン策定のための市民意識調査を実施するため、国などの方向性等を踏まえて調査内容について提案し、検討を行った。

その他、事務局より「包括連携協定」、「第36回健康まつり」の開催状況、保健推進員協議会より「保健推進員だより」が発行された旨の報告があった。

<決定事項>

今回提案した市民アンケート調査の内容を精査し、今年度中に調査を実施していく。

<発言内容>

○調査結果を単純に数値として判断するのではなく、回答者の年代や性別等も含め慎重に判断して分析する必要があるのではないかと。

→今回の集計は単純集計のみであるため、今後はクロス集計等を行い分析していきたい。

○年齢別の比較が必要だと考える。結果では、体重が増加しているにも関わらず食べる量の変化がないという結果はおかしく、運動量が減っているのではと考えられる。年齢により身体活動の影響の大きさが異なるので、細かく見る必要がある。

また、フレイルも重要な視点であるため、特に高齢者の摂取量・バランスを見る必要がある。

→本日配布したものは単純集計のため、今後分析に必要な年齢別に集計し、変化の理由を見ていきたい。また、フレイルについても関係各課と連携し、プランの推進を図りたい。

○若い世代の調査結果が少ない中、様々な場所において調査することで、若い世代の結果を得ることができたのではないかと。年代別で集計をする際、10歳刻みではわかりにくくなるため、全てを年齢別にする必要はないと考える。

また、食塩については日本人の場合、調味料からの摂取が特徴であり、加工食品は企業努力で減塩でもおいしいと感じてもらえる工夫がされている。こういったものを活用しながらいかにして調味料を減らすかが課題である。

→集計方法については、参考にさせていただく。また、当市は高血圧対策が課題であるため、いただいた意見を参考に今後も取組を進めたい。

議 事 の 経 過

- 加工食品やインスタント食品の活用については、データの意味合いはどうか。
→加工食品を摂取する場合は、塩分の問題が出てくる。高血圧について計画の中で取り上げていく予定であり、どのような形で使用されているのかを把握するために質問項目に入れた。
- アンケートの質問数が多いのではないか。もう少し絞ることはできないか。
→電子申請を取り入れたいと考えている。設問数が多いと回答してもらうことができない可能性もあるため、設問内容を精査し、設問項目を検討したい。